

お散歩感覚で
鯖江の市民活動がわかるちゅうブックレット

OSANPO

～4歩目～



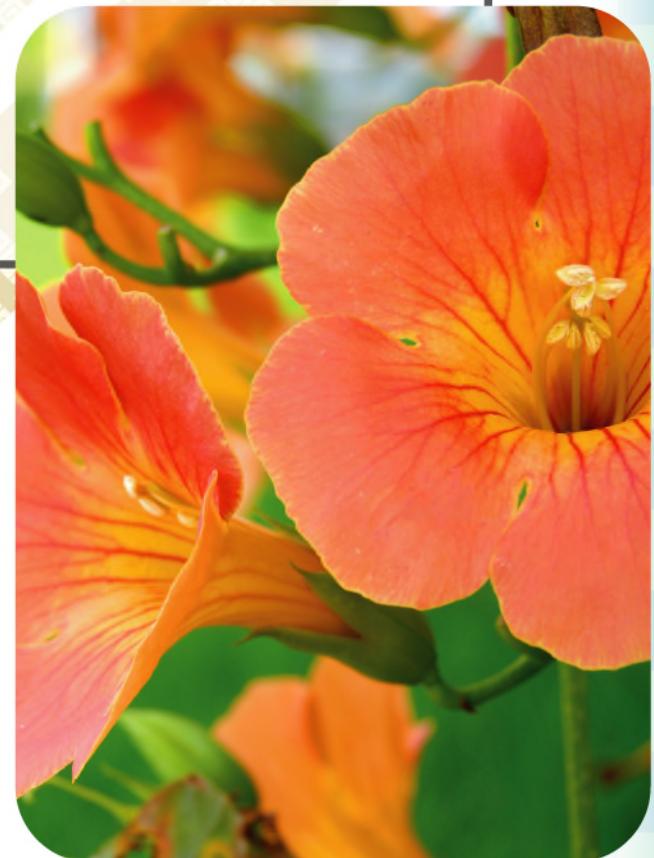


目 次

巻頭特集「さばえNPOまつり」	4 p – 5 p
団体紹介①「鯖江ローターアクトクラブ」	6 p – 7 p
団体紹介②「夢みらいWe」	8 p – 9 p
団体紹介③「ママ友会」	10 p – 11 p
さばえNPOサポート 創立15周年記念式典・祝賀会	12 p – 13 p
特別寄稿「NPOセンターとのかかわり」 さばえNPOサポート初代理事長 田中榮一	14 p – 15 p
団体紹介④「親児の会」	16 p – 17 p
団体紹介⑤「吉川キッズ まちづくり応援団」	18 p – 19 p
巻末特集「チラシ&ポスターで振り返る さばえNPOサポートのH26年度」	20 p – 21 p
編集後記座談会	22 p – 23 p

『OSANPO』について

- ぶらり“お散歩”感覚で、さばえのNPOや市民活動のことが、気軽に楽しくわかる…それが、「OSANPO」のコンセプトです。
- タイトルに隠れた「NPO」(非営利で活動する組織)は、実は身近な存在で、その気になれば、今すぐ、誰でも参加することができます。
…そう、まるで“お散歩”的な☆…



さばえNPOまつり



▼市民の方からの寄付で実現した
マラソングッズのチャリティーブース



▲子ども達に大人気の“フフワ”
運営には「SABAEボラ婚」の
参加者も大活躍



▲市民活動団体が企画した模擬店やワークショップも大盛況でした！

▼NPOセンター会場の受付
スタッフが笑顔でお迎え



▼最終決戦ではサイコロの目で大歓声が！



▲ロールプレイングゲーム中の謎を解くため
各団体の活動を調べる子どもたち



▼西山橋のたもとにも
ゲームポイントが

普段は、市民活動やNPOにあまり関わっていない市民の皆さんにも興味を持つかもしれません。また、開催するような企画もご用意。「さばえNPOまつり」のスタッフとして参加しながら、新しい出会いを見つける婚活イベント「SABAEボラ婚」や、家族やグループで謎解きしながら、市民活動やNPOのことが大きいに見いだせる、そんなイベントになりました。

他のイベントとの相乗効果も相まって、多くの皆さんに、市民活動やNPOのアピールができ、今後の可能性を広げました。

さばえNPOサポートの創立15周年、そして、鯖江市制60年の記念の年に、NPOとして何かできないだろうか、と企画された「さばえNPOまつり」。西山公園と鯖江市民活動交流センターを会場に、市内の23の市民活動団体が、パネル展示やワークショップ、物販コーナーなど、それぞれ趣向を凝らしたブースを出展しました。また、「さばえ秋HANABI」「焼き鳥合衆国」「さばえクラフトマーケット」「鯖江市地域活性化プランコンテスト」などのイベントと同日に開催、「サバフェス」と銘打って、大いに鯖江のまちを盛り上げました。

▶開始前のスタッフ最終
ミーティング
初めての企画の数々に、
内心ドキドキ！



◆巻頭特集◆

祭りだワツシヨイ! さばえNPOまつり

鯖江市制60年記念イベント
さばえNPOまつり
主催：(特適) さばえNPOサポート
日時：平成26年9月15日(月・祝) 10時
場所：西山公園／鯖江市民活動交流センター



“楽しい”が集まるローターアクト!

▼西武デパート前のボリオ撲滅募金活動(2014年9月)
写真提供：鯖江ローターアクトクラブ



40年以上の歴史を持つ『鯖江ローターアクトクラブ』。現在も若者たちの社会奉仕団体として、しっかりと活動を続けています。代表の平澤さんに、会のことや若者のボランティア事情などを、ご自身の体験を含めてお聞きしました。

『ローターアクト?』

国際的な奉仕活動組織『ロータリークラブ』をご存知でしょうか?

『鯖江ローターアクトクラブ』は、その一翼を担う『鯖江ロータリークラブ』の、青年部的存在です。

「18歳から30歳の青年男女が参加しています。

社会奉仕・国際奉仕・専門知識の開発などの具体的な活動を通じ、自分たちで企画・運営することによって、指導力や自己能力の開発を目指します。

なんて、固いことを言ってますが、『やりたいことを自分たちで立ち上げてやってみよう!』って気持ち

で楽しくやっています。

福井県内には、鯖江以外にも福井、福井東、大野などがあり、交流も盛んです。世界的には約160ヶ国・16万人以上のメンバーがいて、『出会い・感動・成長・親睦』をキーワードに活動しています。

出会いがある、親睦を深め、共に主張することで感動できる: 実は、なかなか“楽しくて、広くて、深い”団体なんです。

福井県内には、鯖江以外にも福井、福井東、大野などがあり、交流も盛んです。世界的には約160ヶ国・16万人以上のメンバーがいて、『出会い・感動・成長・親睦』をキーワードに活動しています。

出会いがある、親睦を深め、共に主張することで感動できる: 実は、なかなか“楽しくて、広くて、深い”団体なんです。

『地域と国際社会に向けて』

国際的なネットワークを持っているだけに、活動内容もグローバルです。

今年度、県内の他のローターアクトクラブと合同で行った「ボリオ(小児マヒ)撲滅チャリティー」の他、過去にも海外の子ども達への援助や、途上

国への技術支援など、様々な奉仕活動を展開。東日本大震災の時にも、復興

のために汗を流したそうです。

一方で、身近な清掃活動やイベント

ボランティアなど、活動拠点である自分たちの地域への貢献活動も継続的に実施。そこには「社会貢献によって自らを成長させる」という理念が貫かれています。

「でも、もっと柔らかい企画も、たくさんあるんですよ。

他のクラブでは、自分たちも対象に含めた婚活のイベントを立ち上げて、

そのボランティアをしながら盛り上がったりとかありました。」

社会に役立つことなら、自分たちの発案で、仲間と一緒に取り組める。

それが活動の大きな魅力のひとつなのです。



△NPOまつりの後の清掃活動(2014年9月)

写真提供：鯖江ローターアクトクラブ

『やつてみなきやわからないうから』

そんな平澤さんは、勤め先の社長さんがロータリークラブの会員だったことがきっかけで、ローターアクトクラブに関わるようになりました。その中で自分の生き方が変わったと感じたこともあつたとか…

「私、もともと内気な性格で、最初は新しいことを始めたりするのが苦手だったんですね。でも、クラブでの活動や、引き受けた役職とかがあると、そんなこと言つてられなくなるじゃないですか。だから、やつてみればいいじゃん♪」

で、ある時から“開き直り”つていのを見えました。(笑)『やつてみないやわからないうから、やめとこう』じゃなくて、『やつてみなきやわからないから、やつてみればいいじゃん♪』

それも結局、一緒に活動してる仲間たちの、楽しそうな様子を見られてたからかなって。

おかげで、こんなにポジティブになりました。(笑)』

『もつと知つて〜!!』

今後、もつとクラブのことを知つてもらうことも課題です。

「やっぱり、まず人数を増やしたいですね。ただ、30歳で卒業なので、常にメンバーを増やしていく必要があります。そのためにも、大学生との連携とか共催とかしていきたいんですが、それがなかなか難しくて…:(笑)とにかくローターアクトをもつと知



▲笑顔で集合写真！(中央が平澤さん)

正会員募集中!
基本

〒916-0026 鯖江市本町3-2-12
鯖江商工会議所3F
TEL:0778-52-2966

rac_sabae@yahoo.co.jp

●代表者…平澤 晃子
●活動開始…1974年12月15日
●正会員数…6名(2015年3月現在)
●賛助会員…なし

◎活動目的
18~30歳の青年男女の奉仕団体です。リーダー育成、地域に根ざした活動を目的としています。

これまでにこんな活動もしています

- ◆ミャンマーの子ども達への文房具贈呈
- ◆フィリピンの子ども達への学童支援
- ◆バングラデシュへの組紐技術伝達(技術支援)
- ◆つつじまつりでのブース出店
- ◆防災対策の実施・勉強会
- ◆福井駅前美化運動
(県内ローターアクトクラブと合同で、商店街等に花のプランターを贈呈)
- ◆その他、各地での清掃活動／イベントボランティアなど

「女と男」も 「ひとつひと」と

市民主役事業 夢みらいまつり
～女と男と毛に輝ける地域づくり～
主催：鯖江市 主管：夢みらいWe



神明公民館のとなり、夢みらい館・さばえを拠点に、学びと実践の場を提供している『夢みらいWe』。男女がお互いを尊重し、個性と能力を発揮しながら生きていける、男女共同参画社会の実現も、重要な活動目的のひとつです。会の発足から事業のことまで、代表の栗山会長と、事務局を束ねる内藤館長が、実際にイキイキとお話ししてくれました。

『夢みらいWeの誕生』

この発端は平成15年頃、地域のショッピング施設が閉店したこと。神明地区は歴史的な資産に恵まれた土地柄でもあり、その後、長く空き家にしておくより、市が買い取って生涯学習の場に活用できないかという要望がありました。

結局、予算の問題などで提案は実現しませんでしたが、その時に集まったまちづくりを考える女性たちが核となり、夢みらい館利用者連絡協議会の会長経験者と一緒に、新しい組織が動き始めます。

「夢みらい館・さばえ」の指定管理（行政の施設などを民間の団体や企業が管理・運営すること）の話がでた時、そのメンバーで、ここを新しいまちづくりの拠点として育て活動していくことと『夢みらいWe』が誕生しました。

『夢みらいWeの誕生』

事業を始めてからしばらくは、利用



『生活の中の男女共同参画社会』
『夢みらいWe』の活動の大きな柱のひとつが「男女共同参画社会」の実現です。

『生活の中の男女共同参画社会』

『夢みらいWe』の活動の大きな柱のひとつが「男女共同参画社会」の実現です。

この言葉だけで退かれてしまうこともありそうですが、実際には普段の生活で誰もが経験していること。
「男は、女は、妻は、夫は、こうあるべき」：なんて考え方がある。自分の中にされることに気がついたことはありますか？

皮膚感覚で持っているものだから、いつもは無意識のうちに言葉や行動にない世代では、家の分担をしていふたりに「相手のことを思いやる」という考えを広める取り組みなのです。夫婦が多いとも聞きますが、どこかに「やつてあげている」意識があつたりして、本当の意味での「対等」な関係が社会全体に広まるまでには、まだ時間がかかりそうです。

まずは、自分自身にしみ込んでいる「あるべき姿」のイメージを意識して、違う視点で見つめ直すこと。

それが、日々の生活の中で、自然と男女共同の社会に進むための「第一歩」なのかもしれません。



▼全域団体のAED体験
(H26.10.4.)
写真提供：夢みらいWe



▲栗山祐子会長(左)と内藤雅子館長(右)
この表情だけで、いろんなことが伝わりますよね☆

色々な事業や活動は、決して誰が企画した「遠く」のものではなく、そこで生活する一人一人の人生と気持ちに寄り添っていることが大切です。地域には、素晴らしい能力を持つたたくさんの方が暮らしています。そんな皆さんと共に、パワーを集め、地域に活用化させることが、Weと館に関わっている団体さん・市民の皆さんを目指す先なのだと感じました。

「活動は人。一人一人を大切にしなければと、いつも思っています。」と優しく語る栗山会長。

一人一人の集まりが「We」＝「自分たち」。そして、それが「地域」全体を意味しているんだと、あらためて気づかされた取材となりました。

「活動は人。一人一人を大切にしなければと、いつも思っています。」と優しく語る栗山会長。

〒916-0021 鯖江市三六町1-4-20
夢みらい館・さばえ内
TEL:0778-51-1722
FAX:0778-51-7830
<http://www4.ttn.ne.jp/~yumemirai/yumemirai@wt.ttn.ne.jp>

●代表者…栗山 祐子
●活動開始…2006年7月1日
●正会員数…14名(2014年12月現在)
●賛助会員…なし

◎活動目的
世代を超えて男女の区別なく集える拠点づくり、一人ひとりがかけがえのない存在であることを実感できる地域づくりのため活動中。

正会員募集中!
ボランティア募集中!

基本

<指定管理事業>

- ◆「夢みらい館・さばえ」管理運営
- ◆男女参画シネマ(映像から学ぶ女性の生き方)
- ◆男女で学ぶ介護講座
- ◆地域活動入門講座(人形劇・読み聞かせ)
- ◆夢みらい子どもげんき村
- ◆相談事業(心の電話・教育相談)
- ◆キャリアアップ応援講座

<提案型市民民主役事業>

- ◆さばえ男女共同参画
- ◆男女共同参画講座(さんかく塾) …など

これまでに
こんな活動もしています

手話があり? 気持ちがあれば 全然オッケー。



▼世界共通の、ある“手話”的サイン
この意味知っていますか?
※正解は、本文の最後の段落に

普段の生活で困った時、あなたは誰に相談しますか？
若いお母さんなら、『ママ友』について方も多いのでは？
同じ悩みを持つ女性が気軽に頼りあえるグループ『ママ友会』も、
そんな仲間たちの集まりです。
実は、世話を焼き係(?)の本多さんは手話のエキスパート。耳の不自由なメンバーが、たくさん参加していることも、この会の特徴のひとつです。

『女性のつながりから』

ママ友会

まちづくり 教育 福祉 文化

3年前にスタートした『ママ友会』は、30代～50代の女性が輪になつて、耳が不自由な方やその家族、手話を学びたい方などが参加する、情報交換・交流・助け合いの会です。
発足のきっかけは、市役所で働く本多さんに届く、耳が不自由な皆さんからのSOS。
インターネットや字幕放送の普及などで、昔に比べればニュースなどの情報は手に入れやすくなったはず……でも、誰かに相談するだけで解決できそうにも思える悩みが、思った以上に高いハードルになっていることが、度々あったそうです。
参加の条件は「女性であること」だけ。子育て中のお母さんはもちろん、お孫さんの面倒を見ている「ババ友」さんもOKです。

インターで、仲間の誰かがすぐに「今日はおきそにも思える悩みが、思った以上に高いハードルになっていることが、度々あったそうです。
参加の条件は「女性であること」だけ。子育て中のお母さんはもちろん、お孫さんの面倒を見ている「ババ友」さんもOKです。

現代ならではのツールLINE。スマートフォンの画面にポンと悩みを書きこむだけ、仲間の誰かがすぐに「今日はお休みだから、一緒に病院へ行きましたよ。」「保育園の集まり、私で良かつたら一緒に行きませんか。」「うちの子と一緒に来ますよ。」
そんな時『ママ友会』に頼ってもらえたら、本多さんは笑顔で話します。
「子どもが泣いているけど、どうしたらしいのかしら。」「今度の保育園の集まり、参加したいけど不安なの。」「体調が悪いから、子どもの面倒を見てもえないかな。」「そんな日常の何気ない悩み。頑張れば自分1人で解決できただけだとちょっと心配。そんな時『ママ友会』に頼ってもらえたたら、一緒に来ますよ。」
現代ならではのツールLINE。スマートフォンの画面にポンと悩みを書きこむだけ、仲間の誰かがすぐに「今日はお休みだから、一緒に病院へ行きましたよ。」「保育園の集まり、私で良かつたら一緒に行きませんか。」「うちの子と一緒に来ますよ。」
そんな時『ママ友会』に頼ってもらえたたら、本多さんは笑顔で話します。
「子どもが泣いているけど、どうしたらしいのかしら。」「今度の保育園の集まり、参加したいけど不安なの。」「体調が悪いから、子どもの面倒を見てもえないかな。」「そんな日常の何気ない悩み。頑張れば自分1人で解決できただけだとちょっと心配。そんな時『ママ友会』に頼ってもらえたたら、一緒に来ますよ。」

『友達どうしの助け合い』



▲ある日の情報交換会 この日は男性の参加者も

写真提供：ママ友会

この会のように本音でやりとりできる時間を楽しみにしている会員さんも多いとか。「意識してる人は少ないかもしれない」と願う気持ちが強く伝わってきます。
「私は一人じゃ大したことできかないけれど、できることから場を提供していきたいんですね。時には邪魔くさがられたり、嫌われたりもあるかもしれないけれど、皆さんが喜んでくれた時の達成感があるから、『おせっかい本多』がまた顔を出します。」
時には、耳の不自由な方には、ためらいや引け目からコミュニケーションに慣れてしまうような優しさと、頼りがいのある姿には、こちらも思わずっこりしてしまいます。

「お互いの立場を想像することが大切」と話す本多さん

『なにげないやりとりと本音の情報交換』

メンバーの呼びかけにより不定期に開催される情報交換会。

ランチやお菓子を食べながら、日頃の疑問や悩み、時にはご主人へのグチも飛び出すこの会は、文字通り「女子会」。お子さんも一緒に参加できるため、お母さんたちも安心してお話しできます。

実は、耳の不自由な方には、ためらいや引け目からコミュニケーションに慣れてしまって人も少なくなく、

ご家族やご近所など、人生のところどころで耳の不自由な方と出会い、手話をすることにとても縁が深いと語る本多さん。他人ごとやボランティアではなく、当たり前に「助け合いたい」と願う気持ちが強く伝わってきます。
「私は一人じゃ大したことはできないけど、できることから場を提供していきたいんですね。時には邪魔くさがられたり、嫌われたりもあるかもしれないけれど、皆さんが喜んでくれた時の達成感があるから、『おせっかい本多』がまた顔を出します。」
時には、耳の不自由な方には、ためらいや引け目からコミュニケーションに慣れてしまうような優しさと、頼りがいのある姿には、こちらも思わずっこりしてしまいます。

『おせっかい本多“参上』

この会のように本音でやりとりできる時間を楽しみにしている会員さんも多いとか。「意識してる人は少ないかもしれない」と願う気持ちが強く伝わってきます。
「私は一人じゃ大したことはできないけれど、できることから場を提供していきたいんですね。時には邪魔くさがられたり、嫌われたりもあるかもしれないけれど、皆さんが喜んでくれた時の達成感があるから、『おせっかい本多』がまた顔を出します。」
時には、耳の不自由な方には、ためらいや引け目からコミュニケーションに慣れてしまうような優しさと、頼りがいのある姿には、こちらも思わずっこりしてしまいます。

この会のように本音でやりとりできる時間を楽しみにしている会員さんも多いとか。「意識してる人は少ないかもしれない」と願う気持ちが強く伝わってきます。
「私は一人じゃ大したことはできないけれど、できることから場を提供していきたいんですね。時には邪魔くさがられたり、嫌われたりもあるかもしれないけれど、皆さんが喜んでくれた時の達成感があるから、『おせっかい本多』がまた顔を出します。」
時には、耳の不自由な方には、ためらいや引け目からコミュニケーションに慣れてしまうような優しさと、頼りがいのある姿には、こちらも思わずっこりしてしまいます。

『手話の世界』

国によって手話に違いがあることは比較的知られていますが、実は「男性の手話／女性の手話」「地方ごとの方

正会員募集中!

●代表者…本多 貴代美
●活動開始…2012年
●正会員数…約30名(2015年3月現在)
●賛助会員…なし

◎活動目的
聞こえる仲間、聞こえない仲間がお互いに情報交換できる場を作り、集い、社会参加していくこと。



15年 の間に 紡がれた すべての間に 紡がれた 財産として



その後、大橋副理事長の開会宣言を皮切りに、八田理事長の挨拶、来賓祝辞、そして歴代理事長への感謝状贈呈へ。『NPOサポートの目指す未来』のスライドショーが終わると祝賀会の始まりです。

ジャズピアニスト瀬戸れい子さんと、鯖江出身のボーカリスト田中ゆうきさんを擁するバンド「シュガー」が華やいだ雰囲気を醸し出す中、テーブルの内外で楽しげな会話が交わされました。

開所式の様子から、様々な事業のスナップ、また、福井豪雨で悪戦苦闘するボランティアのみなさんの姿：15年間、鯖江で活動してきた『さばえNPOサポート』の記録は、鯖江で生きてきた参加者の皆さんとの記憶とも重なり、会場のあちこちでお互いに言葉を交わしたり、大きくなったりする姿が見られました。

平成11年4月29日に鯖江市民活動交流センター（さばえNPOセンター）が開所した時、我が『さばえNPOサポート』も活動を開始しました。今年度は、そこからちょうど15年。それを記念して、サバエ・シティーホテルにおいて、記念式典・祝賀会が賑々しく開催されました。

会場の暗転とともに、過去の貴重な写真をちりばめたスライドショーが始まります。

15年間、鯖江で活動してきた『さばえNPOサポート』の記録は、鯖江で生きてきた参加者の皆さんとの記憶とも重なり、会場のあちこちでお互いに言葉を交わしたり、大きくなったりする姿が見られました。



**特定非営利活動法人 さばえNPOサポート
創立15周年記念式典・祝賀会**

主催：(特活) さばえNPOサポート
日時：平成26年11月23日(日) 18時
場所：サバエ・シティーホテル



▲自主運営・自主管理の象徴でもある施設の大掃除(管理デー・クリーンデー)は、現在でも関係団体と協力して行われている(写真は、平成11年6月14日の様子)



平成10年3月、衆議院本会議にて特定非営利活動促進法（NPO法）が全会一致で可決、同年12月1日より施行されました。この法律は、ボランティア団体や市民団体などの任意団体に法人格を与え、その活動を側面から支援することを目的としています。これにより、行政・企業と市民の関係が大きく変わろうとしていました。

市民と行政はそれまで対立するという構図にあり、行政が決めた計画に住民は従い、企業は利潤をあげることを至上目的としてきました。一方、NPOの方々が様々な住民の状況を把握している場合も少なくありません。社会システム維持のためには、市民の協力が不可欠な状況となってきたのです。



▲式典内では、センター開設記念事業「菜の花の沖」演劇公演告知なども



▲平成11年4月29日(木・祝)に開催された「鯖江市民活動交流センター開所記念式典」の様子
テープカットする田中榮一理事長(右から4人目)



三、NPOの姿勢のあり方

当時のNPO活動は市民の間にすんなりと受け入れられたとは言い難いです。行政からの委託事業は順調でした

このように、行政が決めた計画に住民は従い、企業は利潤をあげることを至上目的としてきました。一方、NPOの方々が様々な住民の状況を把握している場合も少なくありません。社会システム維持のためには、市民の協力が不可欠な状況となってきたのです。

二、積極的に活用した 委託事業

が、民間企業からの依頼はまだ乏しかったです。そのため、財政的に苦しくなると、解決の糸口は難しく、社会や行政に対する甘えの姿勢がありました。NPOセンターには経験豊富な能力の高い人材がいますので、行政や企業などにメッセージを送り、社会貢献をしていくことが重要だと考えています。

平成11年に、『鯖江市民活動交流センター』が運営した福井大会では、三県フォーラムで最も重要なのは「交流」だと考えました。市民活動には県もとに、三県の市民が出会いと感動、そして暖かい交流を行う、3つの海を結ぶ夢ネットワークを生み出しました。

平成11年に、『鯖江市民活動交流センター』が運営した福井大会では、三県フォーラムで最も重要なのは「交流」だと考えました。市民活動には県境も地域もありません。必要なのは多種多様な活動が縦横に織りなす「つながり」だと思います。三県の市民活動団体紹介冊子「しづく」の発行、テーマソング「しづく」の誕生など新たな活動・動きが生まれてきました。当日は、分科会535名、ボランティア69名、実行委員16名、事務局7名の計627名の参加があり、大盛況のうちに幕を閉じました。地元鯖江では大きな好評を得ることができ、このようなフォーラムを是非継続してほしいという声が多くありました。



▲平成11年11月7日(日)開催の福井・滋賀・三重市民活動フォーラム'99(三県フォーラム)

一、鯖江市民活動交流センターの誕生

平成9年、「文化の館」が完成し、これに伴い、当時、社会教育委員の私は旧図書館の有効活用の方策を考えいました。市は「生涯学習拠点施設構想策定委員会」を設置し、市民の意見を取り入れながら、センターの運営・組織の検討を連日連夜遅くまで行い、難産でしたが平成11年3月に定款や運営規則を制定しました。その中で、運営組織の名称を「鯖江市民活動交流センター」に決定し、その目的は「市民並びに社会教育団体、市民活動団体、ボランティア団体をはじめとする非営利民間活動団体の公益活動の健全な発展を支援し、もって公益の増進に寄与する」としました。本センターは「自主運営」「自主管理」を基本として、加盟団体の会員によるトイレ掃除や夜の受付当番をするなどユニークな運営方式を採用しました。

このような経過により、平成11年4月29日に、福井県内で初めて、市

運営組織の名称を「鯖江市民活動交流センター」に決定し、その目的は「市民並びに社会教育団体、市民活動団体、ボランティア団体をはじめとする非営利民間活動団体の公益活動の健全な発展を支援し、もって公益の増進に寄与する」としました。本センターは「自主運営」「自主管理」を基本として、加盟団体の会員によるトイレ掃除や夜の受付当番をするなどユニークな運営方式を採用しました。

このように、平成11年4月29日に、福井県内で初めて、市

民団体が自主管理、自主運営する「NPOセンター」が開館しました。開館当日の開所記念式典で述べた理事長挨拶の拙文を紹介します。

「さわやかに緑輝く五月晴れの下に、鯖江市民活動交流センターのオープニングセレモニーを挙行することは、私たちボランティア仲間によりまして、誠に光栄の至りでございます。厚く御礼申し上げます。このセンター誕生につきましては、市長さんのご理解あるおはからいはもとより、教育長をはじめとする関係各位の並々ならぬご努力によりまして、円滑に市議会の承認を受け、以前の図書館を改修いたしました。新しい市民のための活動交流センターが落成したわけです。市長並びに市議会の勇断により、改修工事着工の運びとなりましたときは、近來の快事であると心より、関係者のご理解、ご努力に敬意を表した次第です。市民が『町づくり』に参加していく、これから地方自治発展に貢献できるよう、今後、努力していきたいという思いを述べまして挨拶といたします。」

さわやかに緑輝く五月晴れの下に、鯖江市民活動交流センターのオープニングセレモニーを挙行することは、私たちボランティア仲間によりまして、誠に光栄の至りでございます。厚く御礼申し上げます。このセンター誕生につきましては、市長さんのご理解あるおはからいはもとより、教育長をはじめとする関係各位の並々ならぬご努力によりまして、円滑に市議会の承認を受け、以前の図書館を改修いたしました。新しい市民のための活動交流センターが落成したわけです。市長並びに市議会の勇断により、改修工事着工の運びとなりましたときは、近來の快事であると心より、関係者のご理解、ご努力に敬意を表した次第です。市民が『町づくり』に参加していく、これから地方自治発展に貢献できるよう、今後、努力していきたいという思いを述べまして挨拶といたします。

NPOセンターとのかかわり

さわやかに緑輝く五月晴れの下に、鯖江市民活動交流センターのオープニングセレモニーを挙行することは、私たちボランティア仲間によりまして、誠に光栄の至りでございます。厚く御礼申し上げます。このセンター誕生につきましては、市長さんのご理解あるおはからいはもとより、教育長をはじめとする関係各位の並々ならぬご努力によりまして、円滑に市議会の承認を受け、以前の図書館を改修いたしました。新しい市民のための活動交流センターが落成したわけです。市長並びに市議会の勇断により、改修工事着工の運びとなりましたときは、近來の快事であると心より、関係者のご理解、ご努力に敬意を表した次第です。市民が『町づくり』に参加していく、これから地方自治発展に貢献できるよう、今後、努力していきたいという思いを述べまして挨拶といたします。

民団体が自主管理、自主運営する「NPOセンター」が開館しました。開館

当日の開所記念式典で述べた理事長挨拶の拙文を紹介します。

さわやかに緑輝く五月晴れの下に、鯖江市民活動交流センターのオープニングセレモニーを挙行することは、私たちボランティア仲間によりまして、誠に光栄の至りでございます。厚く御礼申し上げます。このセンター誕生につきましては、市長さんのご理解あるおはからいはもとより、教育長をはじめとする関係各位の並々ならぬご努力によりまして、円滑に市議会の承認を受け、以前の図書館を改修いたしました。新しい市民のための活動交流センターが落成したわけです。市長並びに市議会の勇断により、改修工事着工の運びとなりましたときは、近來の快事であると心より、関係者のご理解、ご努力に敬意を表した次第です。市民が『町づくり』に参加していく、これから地方自治発展に貢献できるよう、今後、努力していきたいという思いを述べまして挨拶といたします。

「楽しい！」の原点 人ととのつながりこそ

進徳小学校の『親児の会』、みなさんほゞ存じでしようか? その『親児の会』が今年度、福井県PTA連合会の表彰を受けました。

卷之四

『子どもは卒業…
でもPTAは卒業しなくて

いいんじゃない?』

「きっかけは、私が鰐江市PTA連会
会副会長の時に開催された、PTA車

A close-up portrait of a middle-aged man with short, light-colored hair. He is wearing a white button-down shirt with small blue and pink polka dots. His eyes are closed, and he has a gentle smile on his face. The background is dark, making the subject stand out.



▲発案者であり、初代会長の田村康夫さん



◀2014年9月20日(土)の進徳小学校
バザーでの「焼きそば」販売

その小学校では、卒業した児童の父
親たちが、お世話になった地域の小学
校を今後も応援していくこうということ
で『親父の会』をつくり、毎年夏限定
で学校のプールにウォータースライダ
ーを作つて子どもたちに解放している
ということでした。

これは面白い。進徳小学校でも“元
PTA”的メンバーが関われる、そん
な会を作ろうということで、当時進徳
小学校のPTA会長だった代田さんによ
うに、平成15年に『親児の会』
が発足しました。

名前の由来は、親・児童の会とい
ふことで、名付け親は、当時の片山教頭
先生。もちろん「親父」だけでなく、
女性も参加しています。

『楽しさと居場所と』

（の仕事場）という“場所”があつたからだと思いますよ。

そう笑顔で語ってくれた田村さん。市民活動の現場でもよく語られるよう、活動の拠点＝「居場所」があることは、会そのものを強力に支えてくれます。

A close-up portrait of a man with dark hair and glasses, looking slightly to the left.

▲平成26年度会長にして
“新人”の納村太郎さん

『校区』という「コミュニティ』

▲発足時はPTA会長だった
代田義浩さん

もちろん会員の交流だけではなく、『親児の会』では、学校の奉仕活動のお手伝いもしています。

ベンチや遊具にベンギを塗つたり、バザーでは、毎年、数百食の焼きそばを販売したりもしています。そのため、移動式の鉄板まで作つてしまいました。

その他、西山公園で開催されるスノーフェスタでもラーメンを販売。

「売り上げは、すべて学校側にお渡し

一システムとして、前年度のPTA会長が、この会の会長になりますが、皆さん自発的に、それこそ楽しんで参加されています。

子どもが学校にいるときは、PTAとしての関わりもありますが、卒業してもなお関わることができるということは、とてもいいことだと思います。

最初は、保護者として子どもたちを見守っていましたけれど、今では『親児の会』を通した『地域住民』として見守っていきたいと思っています。

「…樂しみなのは、活動の後などに行
う、飲み会も含めたコミュニケーション
ですね。お互のことわざがだんだんと
わかってきますし、いろんな話やアイ
デアも出てきます。」

そう思うと、小学校を中心とした、この会のような動きは、知らず知らずに私たちの社会全体への影響力を持つているのかもしれません。

いと思つています。」



子どもの元気はまちの元気!!

子どもたちが「やりたいこと」を自分たちで企画、準備、実施するまちづくりのグループが吉川地区に出現！：そんな情報を耳にして早速取材に向かつた「吉川ふれあいまつり」。そこには、しつかりした表情で事業を切り盛りする子どもたちと、その子どもたちを地域の一員としてサポートする、熱い大人たちの姿がありました。



私がさめるような秋晴れとなった、平成26年10月19日(日)、吉川公民館を中心としたエリアでは、吉川まちづくり協議会主催の「吉川ふれあいまつり」が開催されました。朝から地域の人でごった返す会場内で、小学生たちが忙しく動いているテントが2つ。それが、昨年結成された吉川キッズまちづくり応援団『Y SK 654』のブースでした。

「ヨシカワ」を指す『Y SK』に、小学生6年・5年・4年生を意味する『654』をプラスしたこの名前も、参加した子どもたちが話し合い、みんなで決めたもの。

実は、このグループの立ち上げに深く関わったのが、吉川地区青少年育成協議会の会長でもある早川健治さん。

ご自身も平成25年度の「まちづくり応援団養成講座(全市版)」に参加した経験を持ち、地域の子どもたちの持つ可能性に注目しているひとりです。

『ちびっこの中から』

『自分たちのやりたいこと』

始まりは、6月に配布された、1枚のチラシから。

子どもたちが「やりたいこと」「準備し」「実行する」グループ結成に向けた、参加者募集の内容でした。

第1回目の集まりは、まず打ち解けられるためのレクリエーションから。大人からも提案しながら、毎年10月に開かれる「ふれあいまつり」での活動実施と、それまでに6回の会合を開く「活動計画」もこしらえました。

ただし、早川さんたちが大切にしようとしたこと：それは「大人が口を出しそぎないこと」です。

『失敗するチャンス』

で意見を否定されると、それだけで子どもたちの心はどんどんしぶんでしまうもの。

『Y SK 654』では子どもが主人公。大人は自分の経験や意見を言うことを我慢しつつ、子どもたちが自分で考え話し合い、結論を出すための「お手伝い」をする引立て役なのです。

「実際、子どもだけで結果を出すのを待つのは、かなり我慢がいる時もありますよ。でも、本当に自分たちだけで考え抜いて決めたことは、大人が指図した時ではない責任感やプライドで実行するんですよね。」

早川さんは、大人が思っているよりも子どもたちがはるかにシッカリと考え、自分たちの力を發揮するチャンスを待っているんだと話してくれました。

言つてもらえたことへの感動など、その楽しさや、やりがいを感じられたに違いありません。

他のテントでも、大人たちがうどんやそば、焼き鳥などを売っている中、『Y SK 654』の「G R E A T (グレート) 焼きそば」は、お昼を過ぎて早々に完売御礼とあいなりました。

一方の「つりぼり」チーム。最初はビニールプールか何かで「金魚すくい」の拡大版“みたいなものを想像していたものの、公民館横にある普段は使用していない水路に気づき、それを「つりぼり」として仕立てることに。魚の手配には大人も大奮闘。行政や漁業組合さんの「つて」をたどり、ギリギリのタイミングで、どうにか企画を成功させられる価格で分けてもらえることになりました。

相手が川魚だけに、水の管理のためのポンプや土嚢も準備。

竹の釣り竿も、針や水糸を付けるまで子どもたちが手作りし、普通なら、まちなかでは経験できないアトラクションは、当日大盛況となりました。

『2つの企画』

そうして実施することになった企画が「焼きそば」と「つりぼり」。

「焼きそば」販売と言っても、ただ作つて売るだけではありません。損をしないように値段を決めることが、仕入れ(買い物)、試作、下ごしらえに、調理してパッケージに詰め、販売まで。もちろん、お店の看板だって自分たちの手作りです。

プロのお店がしているようなことを疑似体験することで、お金を儲ける仕組みが理解できるだけでなく、お客さんとのやり取りや「おいしかった」と

『テキバキと調理する「焼きそば」チーム☆』



『基本』

正会員募集中!

ボランティア募集中!

	〒916-0085 鮫江市大倉町5-14-1 吉川公民館内
	TEL:0778-62-1020 FAX:0778-62-0700
	https://ja-jp.facebook.com/sabaecityyoshikawakouminkan
	SC-CC-Yoshikawa@city.sabae.fukui.jp
	●代表者…早川 健治 ●活動開始…2014年6月 ●正会員数…約20名(2015年3月現在) ●賛助会員…なし
	◎活動目的 子どもたちが企画・運営、大人がサポート。子どもたちの元気とやる気が、まちを元気にする!

【2014.11.2(日)】〈柿もぎハイキング〉/【2015.1.28(水)】〈地産ジビエ 美味のタべ(提案型市民主役事業)〉

〈市民まちづくり応援団養成講座〉
【2014. 6. 25(水)～】新横江地区(全6回)
【2015. 1. 21(水)～】立待地区(全6回)
(提案型市民主役事業)

【2014.11.27(木)～】〈企画ミーティング〉
【2015.1.24(土)】〈恋愛工房〉

【2014. 7. 8(火) /12. 12(金)】
〈ファンドレイジング講座1 & 2

【2015. 3. 8(日)】
〈お手軽・お気軽ボランティア体験会

【2015.2.25(水)/2.26(木)】
〈広報講座「色彩のデザイン教室」〉

チラシ&ポスターで振り返る
さばえNPOサポートの平成26年度

■『OSANPO』を発行している「さばえNPOサポート」は、今年度もいろいろな事業や活動をしてきました。その記録を、チラシやポスターで振り返ります。

A large poster for the 'Kawada Oshidori Hunt' (寻找オシドリ) at the Kawada Mountain Tankein Kingdom. The poster features a close-up illustration of two mandarin ducks facing each other. The background is blue with white clouds. At the top, the text reads 'かわだ里山たんけん王国～第1回～' and 'SAVE JAPAN' in English. Below the title, there is a large red and black text box containing event details: '日時: 2014年 6月15日(日) 9:30~12:10' (Date: June 15, 2014, 9:30~12:10), '集合場所: 河和田コミュニティセンター' (Meeting place: Kawada Community Center), '申込締切: 6月8日(日)' (Application deadline: June 8, 2014), and '定員: 40名' (Capacity: 40 people). The bottom of the poster has small text about the organizer, '株式会社アーバン農業開拓団', and the location, '滋賀県高島市河和田町'.

The poster features a large title '鳥たちの巣箱 作ってみよう' (Let's Make Bird Nest Boxes) in red and orange. Below it, the subtitle 'かわだ里山たんけん王国～第2回～' (Kawanada Iriyama Tankeien Kingdom ~ 2nd Round ~) and 'SAVE JAPAN' are visible. The background shows a wooden structure and a bird perched on a branch. A small inset image in the bottom right corner shows a close-up of a bird's head.

かわだ里山たんけん王国～第3回～ SAVE JAPAN プロジェクト
鳥たちの巣箱を
かけて
あげよう!!

■ 時間：
2014年
11月9日(日)
9:00～12:10

■ 開催場所：
河和田コミュニティセンター
(勝江市)

シヨウビタキ

【2014. 6. 15(日) / 8. 24(日) / 11. 9(日)】(全3回)
【2014. 8. 17(日) ~ 8. 24(日)】(サテライト展)
〈SAVE JAPAN プロジェクト2014



「OSANPO」編集後記座談会

この度、やつと『OSANPO』が発刊となりました。(汗)(涙)
4歩目になると、いろいろな悩みが出でます。
その悩みをぜひ聞いてやつてください。



★実は表紙の写真って…

A いよいよ4歩目。
表紙は最後の季節、「夏」だね。実は『OSANPO』の表紙って、各号が鯖江の四季を取り切ってるんだけど：きっと一般の方でそれに気づいてる人、あんまりいなさそーだなあ。

B 「出発号」がたまたま秋で、その後は「2歩目」が冬、「3歩目」が春と…
で、今回が夏。

C でも、まだ寒い季節に、夏の写真見るのも、なんかイイね。んで、完成も夏だったりして。それはヤバイって！怒られる。なんとか春までには作らないと。

D 4月の総会には、皆さんに見てもらいたいしね。しかし、夏っていいよね。夏と言えば、ビールに枝豆。海とか山とか水着とか…。

E ああ、夏が待ち遠しい：(笑)もしもしもし、もしかして現実逃避してるのであるのかなあ？

F その前に、締め切りが待ってますよ。よん。(汗)



☆インタビューは…

A まあ、冗談はその辺にして、今回の取材はどうでしたか？

B 去年は『アートルトンクラブ』さんを取材させていただきましたが、今年は『夢みらいWe』さんを取材させていただきました。

C どちらも、その想いに、感動させてもらえたなって思います。

D 人と人とのつながりの大事とか、地域性の大切さに気づかせてもらえて：それに、とってもあったかかったです。

E たまにはいいこと言うね。

F 「たまに」は余計です！

G 団体さんの頑張ってる姿を見てるよし！じゃあ、来年度は「広報委員スキル養成ギプス」を開発！

H そのために、自分たちのスキルアップをどこかにかしないと…

I いきましょう！

J そのためには、自分たちのスキルアップをどこかにかしないと…

K よし！じゃ、来年度は「広報委員スキル養成ギプス」を開発！

L 決定っ！

M その前に、普通に「勉強会」とかから始めりやいーんじや？

N ただ、もう4歩目だから、次は何か違った試みをしてみたい。例えばどんな？

O ここではまだ明かせん。なあ。

P バレてしまふと楽しみがなくなる。ただ、マンネリにならない為にも新しいコンテンツはやっぱり必要だよね。

Q おー！

R 『ママ友会』さんのお話でも思つたんですが、みんなが机上の話ではなくて、今、現実的に困っている人に具体的な解決策や愛の手を差し伸べているのが素晴らしいなーって。

S その人たちが何に困っているのか、ちゃんと問題点を、その人の立場になって理解して、その対処方法を細かく考えて行動してるっていうことが：

T うー、なんか話が難しい方向に：まあね。確かにそうなんだけど、まずは、「楽しく」だーよ。

U 楽しくないと続かないだーよ。

V きっと皆さんも、感謝されることとか、達成感とかを「楽しんで」活動してるから、大変なことでも続けていられるんだと思うよ。

W 他の方はどうですか？

X お話は柔らかくね。

Y 私は、まだまだ緊張しちゃって：何を聞いていいのか、とっても思いつかなくて。

Z 自分の気持ちも話しながら、相手



広報メンバー募集!!

あなたもいつしょに『OSANPO』を作りませんか？
人とお話しするのが好きな方、文章を書くのが好きな方、デザインやイラスト作成が好きな方など、ぜひお気軽に事務局までご連絡ください。
待ってまーす！

[ご連絡先]
■さばえNPOサポート事務局
TEL: 0778 (54) 7055
Eメール: info@sabae-npo.org



…ということで、まだお話を聞けていない団体の皆さま、これからもどんどん取材にうかがいますので、ぜひ温かい目でお見守りくださいませ。

E 私は、まだまだ緊張しちゃって：何を聞いていいのか、とっても思いつかなくて。

A お話を柔らかくね。

C 私は、まだまだ緊張しちゃって：何を聞いていいのか、とっても思いつかなくて。

B どうですか？

D おー！

E 『ママ友会』さんのお話でも思つたんですが、みんなが机上の話ではなくて、今、現実的に困っている人に具体的な解決策や愛の手を差し伸べているのが素晴らしいなーって。

F その人たちが何に困っているのか、ちゃんと問題点を、その人の立場になって理解して、その対処方法を細かく考えて行動してるっていうことが：

G うー、なんか話が難しい方向に：まあね。確かにそうなんだけど、まずは、「楽しく」だーよ。

H 楽しくないと続かないだーよ。

I きっと皆さんも、感謝されることとか、達成感とかを「楽しんで」活動してるから、大変なことでも続けていられるんだと思うよ。

J 他の方はどうですか？

K お話は柔らかくね。

L 私は、まだまだ緊張しちゃって：何を聞いていいのか、とっても思いつかなくて。

M 自分の気持ちも話しながら、相手

A その想いを聞くのは、とっても難しいです。

B フランクに聞くのって難しい？

C なんか、一問一答式になっちゃうから、相手まで緊張させちゃうんじゃないか心配でした。でも団体さんの想いを、まずお聞きするのも大事なんですよね。そうだね！でも、気をつけないと、3時間ぶつ続けでお話を聞かせていただいたのは良かったものの、記事のために必要なことを聞き忘れるなんてこともあるからね。

D あー、あつた。(苦笑)

E でもねえ、ある意味、人生かけて活動されてたりするわけだから、お話を聞いてる時間はいくらあっても足りないのかもよ。

F 最低限お聞きしたいことは、やっぱり意識的にタイミングを作るとかしないとさ。

G ありのままのじや、ダメですか～♪

H それじゃあ、まともないじやん。誌面にも限界があるのを忘れちゃダメよ！ダメダメ。

I (笑)この座談会も楽しくなってきましたよ。

J ただーよ。

K 僕の感想だけど『夢みらいWe』さんと『ローターアクト』さん取材をさせてもらったかったのは、ボランティアのベテランさんも若者も、市民活動に向ける想いの温度は高いんだなーってこと。それと、そういった団体さんや熱

A D その想いを聞くのは、とっても難しいです。

B E A なんか、一問一答式になっちゃうから、相手まで緊張させちゃうんじゃないか心配でした。でも団体さんの想いを、まずお聞きするのも大事なんですね。そうだね！でも、気をつけないと、3時間ぶつ続けでお話を聞かせていただいたのは良かったものの、記事のために必要なことを聞き忘れるなんてことがあるからね。

C あー、あつた。(苦笑)

D でもねえ、ある意味、人生かけてお話を聞いてる時間はいくらあっても足りないのかもよ。

E 最低限お聞きしたいことは、やっぱり意識的にタイミングを作るとかしないとさ。

F G ありのままのじや、ダメですか～♪

H I それじゃあ、まともないじやん。誌面にも限界があるのを忘れちゃダメよ！ダメダメ。

J K (笑)この座談会も楽しくなってきましたよ。

L M ただーよ。

N 僕の感想だけど『夢みらいWe』さんと『ローターアクト』さん取材をさせてもらったかったのは、ボランティアのベテランさんも若者も、市民活動に向ける想いの温度は高いんだなーってこと。それと、そういった団体さんや熱

A F A B F いよいよ4歩目。

B C まだ寒い季節に、夏の写真見るのも、なんかイイね。

C D なんとか春までには作らないと。

E F 4月の総会には、皆さんに見てもらいたいしね。

G H しかし、夏っていいよね。

I J 夏と言えば、ビールに枝豆。海とか山とか水着とか…。

K L 夏が待ち遠しい：(笑)

M N そもそも、その想いに、感動させてもらえたなって思います。

O P なんとか春までには作らないと。

Q R 4月の総会には、皆さんに見てもらいたいしね。

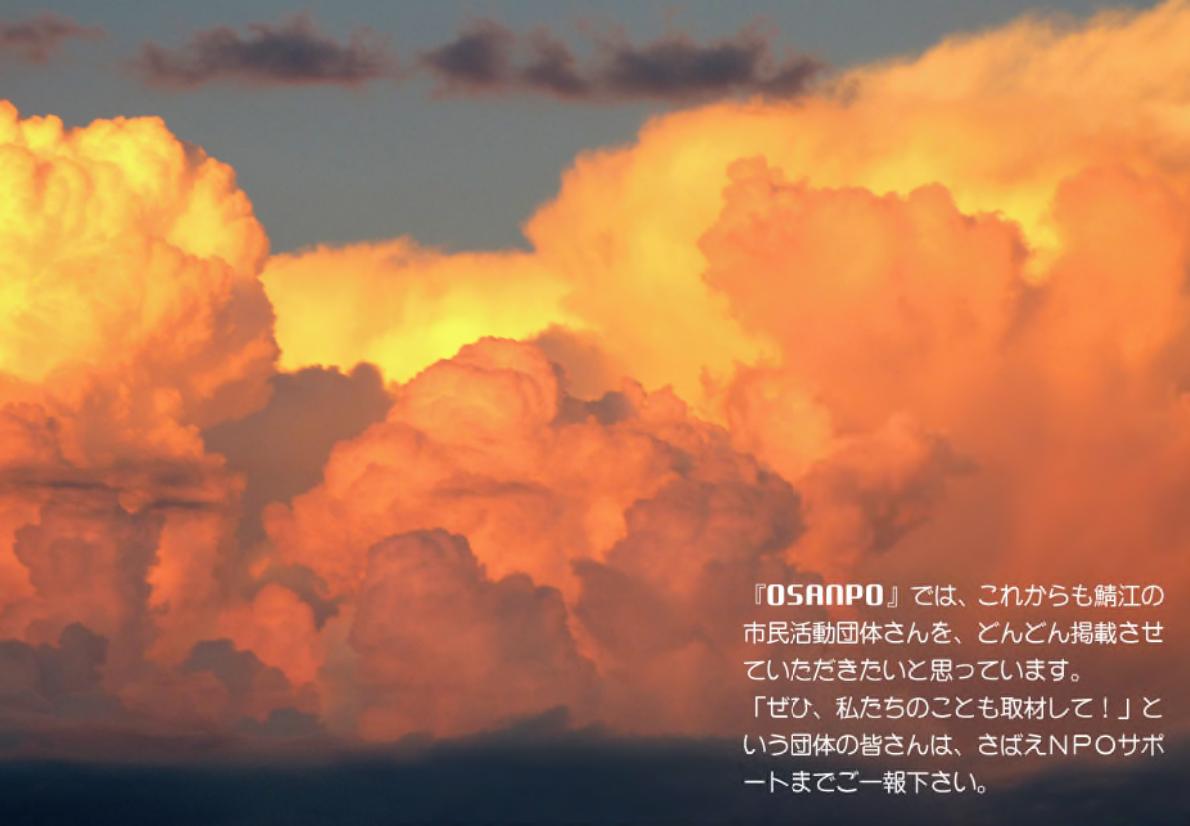
S T しかし、夏っていいよね。

U V 夏と言えば、ビールに枝豆。海とか山とか水着とか…。

W X 夏が待ち遠しい：(笑)

Y Z そもそも、その想いに、感動させてもらえたなって思います。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z



『OSANPO』では、これからも鯖江の市民活動団体さんを、どんどん掲載させていただきたいと思っています。
「ぜひ、私たちのことも取材して！」という団体の皆さんには、さばえNPOサポートまでご一報下さい。

『OSANPO～4歩目～』

- 2015年3月 初版発行
- 発行人：広報特別委員会
- 発行所：特定非営利活動法人
さばえNPOサポート

福井県鯖江市長泉寺町1-9-20
TEL:0778-54-7055
FAX:0778-54-7058
E-mail : info@sabae-npo.org
●<http://sabae-npo.org/>



Copyright (C) 2015 SABAE NPO SUPPORT